



CONTENTS

- ・第 600 号発刊にあたり
岩手県土地改良事業団体連合会会長 高橋 隆..... 2
- ・岩手県土地改良事業団体連合会
第 68 回通常総会を開催..... 3
- ・令和7年度土地改良功労者表彰 4
- ・本会高橋会長が議長を務める 5
- ・本県から1土地改良区、2氏が荣誉に輝く 5
- ・令和8年度の国への要請活動をスタート 6
- ・令和7年度水土里ネット役員研修会開催..... 7
- ・岩手県大区画化等推進協議会を設立 8
- ・令和8年度絵画・写真コンクール作品募集 9
- ・定期相談所の開設について 9
- ・令和8年度水土里ネットいわて
新任・新採用職員 10
- ・令和7年度水土里ネットいわて資格取得者 10
- ・令和8年度水土里ネットいわて組織図 11
- ・土地改良区だより第14回
水土里ネット陸前高田 12
- ・編集後記

第 600 号発行にあたり

岩手県土地改良事業団体連合会
会 長 高 橋 隆

「岩手県の土地改良」は本号をもって600号を迎えることができました。昭和38年4月の創刊です。人によれば63歳。会員はじめ読者の皆様にはいつもご覧頂いていることに感謝申し上げます。

節目に当たる各号を振り返りますと、昭和47年8月発行の記念すべき第100号では、当時の会長である八重樫利康氏（猿ヶ石北部土地改良区理事長、旧花巻市長）が、兼業農家の増加や生産調整の本格化などを踏まえ、「住みよい村造りと生産性の高い農業基盤造りの盛りあがりに（本誌を）役立つものとしていきたい」と巻頭で述べられています。また、換地設計実施要領について14ページにもわたる記事が掲載されており、メール、ワープロはもとよりコピー機も無い時代、制度の周知に非常にご苦労されたことがうかがえます。

第200号は、本県で第3回の全国土地改良大会が開催された昭和55年の12月に発行されました。臨時総会やほ場整備に向けた「農地工事技術向上対策講習会」等の開催、農林年金の健全発展を目指す「全国農林漁業団体振興会」の設立などが記事となっています。平成元年4月に発行された第300号では、通常総会の開催など従来の記事に加え、会員の紹介コーナーにおいて、農村総合モデル事業を実施する山田町、県営湛水防除による排水機場の整備を終えたばかりの夏川沿岸土地改良区（一関市花巻町）が紹介されており、会員相互の交流促進に向けた工夫が感じられます。平成9年9月発行の第400号では、本会が主催する農村景観写真コンクール受賞作品が表紙を飾り、県議会農業農村整備推進議員クラブによる県北中山間地域の基盤整備視察研修や、いわて国際農業シンポジウムの開催が記事となっています。平成17年12月発行の第500号では、土地改良事業地区営農推進優良事例表彰最高位である農水大臣賞を受賞した原体ファーム（奥州市江刺）、農業集落排水事業湯口中部地区（花巻市）完工に加え、土地改良区の施設維持管理に関する特集記事が組まれており、本県土地改良事業の成果が全国的に認められる一方で、施設を“作るから守る”時代への変遷が感じられる誌面になっています。

本誌は、今では本会のホームページを通じ、会員、国や県関係者はもとより、広く県民に向けて本県土地改良に関する情報を提供しています。今後も会員の皆様のお役に立てるよう誌面の充実に努めて参ります。

過去の「岩手県の土地改良」▼



岩手県土地改良事業団体連合会第68回通常総会を開催

— 令和8年度事業計画、一般会計予算など10議案を承認 —

本会は、3月17日、本会3階会議室において、第68回通常総会を開催した。

開会にあたり高橋隆会長が、「昨年4月に策定された食料・農業・農村基本計画を推進するためには、農地の大区画化や農業水利施設の保全管理、土地改良区の運営基盤強化などを着実に進める必要がある。本県は農地の約8割を中山間地域が占め、水田整備率は東北で最も低い54%となっているが、最近では年間約300ha以上の整備が進み、低コスト化や農地集積、スマート農業、高収益作物導入など基盤整備の効果が着実に表れている。本会では、令和8年度から本格的に始まる『大区画化等加速化支援事業』を推進するため、簡易な整備による大区画化等の取組を支援するほか、農業水利施設の防災・減災対策や農業集落排水施設の機能強化に向けた施設整備、災害復旧支援にも取り組む。また、『水土里ビジョン』策定に向けた経営診断や、水土里情報システム、ドローン活用による施設管理の効率化・高度化を進めながら、運営基盤の強化を支援していく。今後も安定的な予算確保に向けた要請活動を行い、国の『土地改良長期計画』及び県の『いわて農業農村整備の展開方向』の実現に尽力していく。また、第49回全国土地改良大会岩手大会について、令和8年度は準備体制をより強化し、

大会の成功に向け万全を期す。」と挨拶した。

来賓祝辞では、荻野憲一東北農政局次長が、「昨年は、新たな食料・農業・農村基本計画と土地改良長期計画が閣議決定され、農業生産基盤の整備・保全を計画的に進める方針が示された。今後は、農地の大区画化やスマート農業への対応、農業水利施設の長寿命化、防災・減災対策などを地域の実情に応じて推進する。東北農政局では、現場主義を徹底し、関係者と連携しながら東北地方の農業農村の持続的発展に取り組んでいく。」と永井春信東北農政局長の祝辞を代読した。



【東北農政局長の祝辞を代読する
荻野農政局次長】

総会では、令和6年度事業報告並びに決算、令和7年度補正予算、令和8年度事業計画並びに予算など10議案が審議され、全議案が原案どおり議決された。



【挨拶を述べる高橋会長】



【第68回通常総会の様子】

令和7年度土地改良功労者表彰

● 役員 の 部

氏 名	所 属	役 職 名
松 本 榮	一方井土地改良区	前 理 事 長
岩 崎 富 士 夫	一方井土地改良区	前 副 理 事 長
横 田 信 一	一方井土地改良区	前 理 事
本 間 晋	照井土地改良区	理 事
土 川 昭 悦	馬淵川沿岸土地改良区	筆 頭 理 事

● 職員等の部

氏 名	所 属	役 職 名
川 越 光 太 郎	鹿妻穴堰土地改良区	事 業 課 主 査
伊 藤 佳 奈	鹿妻穴堰土地改良区	事 業 課 主 査
石 川 祐 規	照井土地改良区	換地課長補佐(兼)総務課長補佐



前列左から 土川昭悦氏 本間晋氏 高橋隆会長 松本榮氏 岩崎富士夫氏 横田信一氏
後列左から 石川祐規氏 伊藤佳奈氏 川越光太郎氏

本会高橋会長が議長を務める

—全国土地改良事業団体連合会第68回通常総会—

3月25日、全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）の第68回通常総会が全国都市会館において開催され、全11議案が全会一致で承認された。

議長を務めた本会の高橋隆会長は、議事終了後、令和9年度開催予定の全国土地改良大会岩手大会のPRを行った。



【議長を務める高橋会長】

本県から1土地改良区、2氏が荣誉に輝く

—第67回全国水土里ネット表彰式—

3月25日、全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）主催による第67回全国土地改良功労者等表彰の表彰式がシェーンバッハ・サポー（東京都砂防会館）において開催された。

全国土地改良功労者等表彰は、良好な運営を継続している土地改良区とその運営に多大な貢献をされた個人を表彰するもので、全国より57土地改良区、個人117名が受賞した。本県からは、全国土地改良功労者等表彰の団体表彰を北上川東部土地改良区（鈴木明夫 理事長）が、個人表彰を、岩瀨功 金流川沿岸涌津土地改良

区理事長及び小野寺美佐雄 一関東部土地改良区事務局長がそれぞれ受賞した。

開会に当たり、二階会長から「本日受賞された皆様の長年にわたる献身的なご努力に敬意を表するとともに、今後も土地改良事業の推進と地域農業の発展にご尽力いただくようお願いする。また、水土里ネットの役割は今後ますます重要になることから、土地改良関係者が一致団結してその役割を果たしていくため、改めて力強いご支援をお願いする。」と式辞があった。



前列左から 高橋隆 本会会長 鈴木明夫 北上川東部土地改良区理事長
二階俊博 全土連会長 岩瀨功 金流川沿岸涌津土地改良区理事長
小野寺美佐雄 一関東部土地改良区事務局長
後列左から 千田公喜 本会副会長 久保田泰輝 本会副会長

令和8年度の国への要請活動をスタート

—岩手県と合同で農林水産省、国会議員へ令和9年度予算の確保等を要請—

本会は、岩手県と合同で、4月22日～23日、農林水産省と国会議員に対し、農業農村整備事業の着実な推進のため下記について要請を行った。



松本農村振興局長と要請者

農林水産省では、23日に、松本平 農村振興局長、青山(せいやま)健治 農村振興局次長及び石川英一 整備部長に面会し、岩手県の照井富也 農林水産部長、畠山英勝 農村整備担当技監及び星一樹 農村計画課総括課長とともに、本会の高橋隆 会長、久保田泰輝、千田公喜 両副会長、千葉匡 専務理事及び今泉元伸 参事が要請を行った。

松本局長からは、「公共事業は予算確保が最重要であり、計画的な事業推進に向けて、みんなで協力して取り組んでいきたい。引き続き、支援をお願いする」との回答があった。

東北農政局では、22日に、荻野憲一 農政局次長及び鷺野健二 農村振興部長に面会し、要請を行った。



荻野局次長・鷺野部長と要請者

国会議員には、23日に、鈴木俊一 自由民主党幹事長、藤原崇 衆議院議員、米内紘正 衆議院議員及び進藤金日子 参議院議員(秘書)に面会し、要請を行った。



鈴木幹事長と要請者

要請項目

- 1 農業生産基盤の整備や農村地域の強靱化の着実な推進が図られるよう、別枠予算を含めた令和9年度農業農村整備事業関係予算について、安定的かつ十分に確保すること。
- 2 農地の大区画化や汎用化等、中山間地域を含むほ場整備や、農村地域の国土強靱化に向けた農業水利施設の更新・長寿命化、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 3 土地改良区の運営基盤強化や地域の農業生産基盤の保全に向け、新技術の導入等による施設の維持管理コストの低減や水土里ビジョンに基づく保全の取組が計画的に推進されるよう支援すること。

令和7年度水土里ネット役員研修会開催

－土地改良区の管理運営基盤の強化に向けて－

1月27日から28日にかけて、県内土地改良区役職員等約270名の出席のもと、盛岡市つなぎ温泉ホテル紫苑において『令和7年度水土里ネット役員研修会』を開催した。

開会にあたり、主催者を代表して本会高橋隆会長が、「本研修会は、土地改良区の組織運営の改善及び適正な財政計画の確立と土地改良区の管理運営基盤の強化に資することを目的に開催している。県内の土地改良区関係者がこのように一堂に会するのは本研修会が唯一と考えている。地域の課題等を共有しながら交流を深めていただきたい。」と挨拶した。



【研修の様子】

次に、来賓挨拶として、岩手県農林水産部の今泉元伸 農村整備担当技監が「本県の農業を強化するため、昨年7月に県が策定した『岩手農業生産強化ビジョン』において、生産基盤の強化に取り組む

こととしている。本ビジョンに基づき生産者の収益向上とともに、生産性・市場性の高い産地づくりと、それを支える生産基盤の着実な整備、農業水利施設の適切な保全・長寿命化などを地域と共に進めていく。また、令和8年度予算が本県に十分に配分されるよう、国に対する要請に地域の声をしっかり反映させるとともに、計画的かつ効率的な事業執行に取り組んでいく。」と農林水産部長挨拶を代読した。

研修は下記次第のとおり行われた。本研修により、農業政策や自然災害への備え、職場環境改善等への理解が深まるとともに、今後の土地改良区の運営の一助になることを期待する。



【講演する加藤美香保 弁護士】

令和7年度水土里ネット役員研修会

次 第

【27日(火)】

- ・「いわての農業農村整備の展望」
講 師 岩手県農林水産部農村整備担当技監兼農村計画課総括課長 今泉 元伸 氏
- ・「世界に誇る日本の土地改良の未来に向けて」
講 師 トゥリーアンドノーフ株式会社代表取締役 徳本 修一 氏
- ・「災害への備えと情報の活用～岩手県の災害リスクを踏まえて～」
講 師 気象予報士 半井 小絵 氏

【28日(水)】

- ・「職場のハラスメント対策～快適な職場を保つために～」
講 師 浅田・加藤法律事務所弁護士 加藤 美香保 氏
- ・「ブナ林の生態とクマの出没動向」
講 師 秋田県農林水産部林業研究研修センター環境経営部長 和田 覚 氏

岩手県大区画化等推進協議会を設立

—畦畔除去による農用地の大区画化等の取組を支援—

令和8年3月19日、県内の大区画化等加速化支援事業による農用地の大区画化等を促進し、農業の生産性向上を図ることを目的に、県内58の関係機関・団体が参画して、岩手県大区画化等推進協議会を設立した。

設立総会には関係機関・団体から55名が出席。協議会の設立と令和8年度の事業計画が全会一致で承認された。



審議状況

会長に就任した岩手県農林水産部の吉田秀寿 農村建設課総括課長は、「基盤整備を着実に進めていくためには、

農業構造転換集中対策や国土強靱化、防災・減災対策などにおいて、国が創設する事業、予算を積極的に活用し、県が実施するほ場整備と、市町村・土地改良区・農業者の方々が主体となって実施する簡易な基盤整備を一体的に進めていくことが非常に重要である」と挨拶した。



挨拶する吉田会長

本会は、岩手県と協議会の事務局を担当し、令和8年度から本格的に始まる県内の大区画化等加速化支援事業の取組を支援していく。

協議会の概要

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 名称 | 岩手県大区画化等推進協議会 |
| 2 | 設立日 | 令和8年3月19日 |
| 3 | 所在地 | 岩手県盛岡市本宮二丁目10番1号
(岩手県土地改良事業団体連合会) |
| 4 | 役員構成 | 会長1名、副会長1名、監事2名 |
| 5 | 会員数 | 58(県、市町村、土地改良区、関係機関・団体) |
| 6 | 主な活動 | ① 事業地区の審査・採択
② 事業実施主体への交付金交付
③ 事業実施主体に対する技術的支援・指導
④ 事業の需要量調査
⑤ 国への申請・報告 |

令和8年度絵画・写真コンクール作品募集

令和8年度
美しく豊かな農村
絵画コンクール

募集テーマ

- 農村の美しい景観
- 農作業・農村生活の様子
- お祭りや伝統的な風習
- 将来の農業・農村の姿 など

応募資格

小学生・中学生
※小学生は2学年ごとに部門分けしています

☆入賞者には図書カードプレゼント！
☆応募者全員に参加賞の景品あり！！

令和8年度
農村景観
写真コンクール

応募部門 ※岩手県内で撮影した作品に限る

風景部門：『スマート農業』や大区画化された農地(水田・畑)及び、農村集落や水路などの農村風景

人物部門：農作業やお祭りなど農村生活における人物

応募資格

どなた様でも応募可！

☆各部門毎

最優秀賞	賞状・賞金	(5万円)
優秀賞	賞状・賞金	(2万円)
佳作	賞状・賞金	(1万円)

応募締切

令和8年11月6日(金)

- 主催：岩手県土地改良事業団体連合会（愛称：水土里ネットいわて）
- 共催：岩手県農業農村整備事業推進協議会
- 後援：岩手県、岩手県教育委員会、岩手日報社
- お問い合わせ：岩手県土地改良事業団体連合会
総務管理部管理指導課 TEL/019-631-3202 FAX/019-631-3260
Mail s-kanri@iwatochi.com

定期相談所の開設について

本会は、5月より定期相談所を開設します。土地改良相談（土地改良事業、土地改良法令、土地改良施設管理、賦課金滞納等）および、財務管理強化相談（複式簿記、指導監査等）を受け付けておりますのでご利用ください。

開設日時 毎月第3月曜日 9:30～16:00

なお、開設日以外でも随時相談を受け付けております。

場 所 岩手県土地改良事業団体連合会 総務管理部管理指導課内

申込方法 土地改良相談は様式第10号により、担当者までお申し込みください。

担 当 管理指導課 後藤 TEL 019-631-3202 FAX 019-631-3261

Mail s-kanri@iwatochi.com

令和8年度水土里ネットいわて新任・新採用職員



今泉 元伸
(いまいずみ もとのぶ)

参事
兼農村振興部長



小野寺 忠夫
(おのでら ただお)

農村振興部
資源保全推進室
農地・水専門員



佐藤 和重
(さとう かずしげ)

農村振興部
資源保全推進室
農地・水専門員

令和7年度水土里ネットいわて資格取得者

- 農業農村地理情報システム技士
- 日商簿記検定（3級）



佐藤 奈津子
(さとう なつこ)

総務管理部
水土里情報推進課嘱託

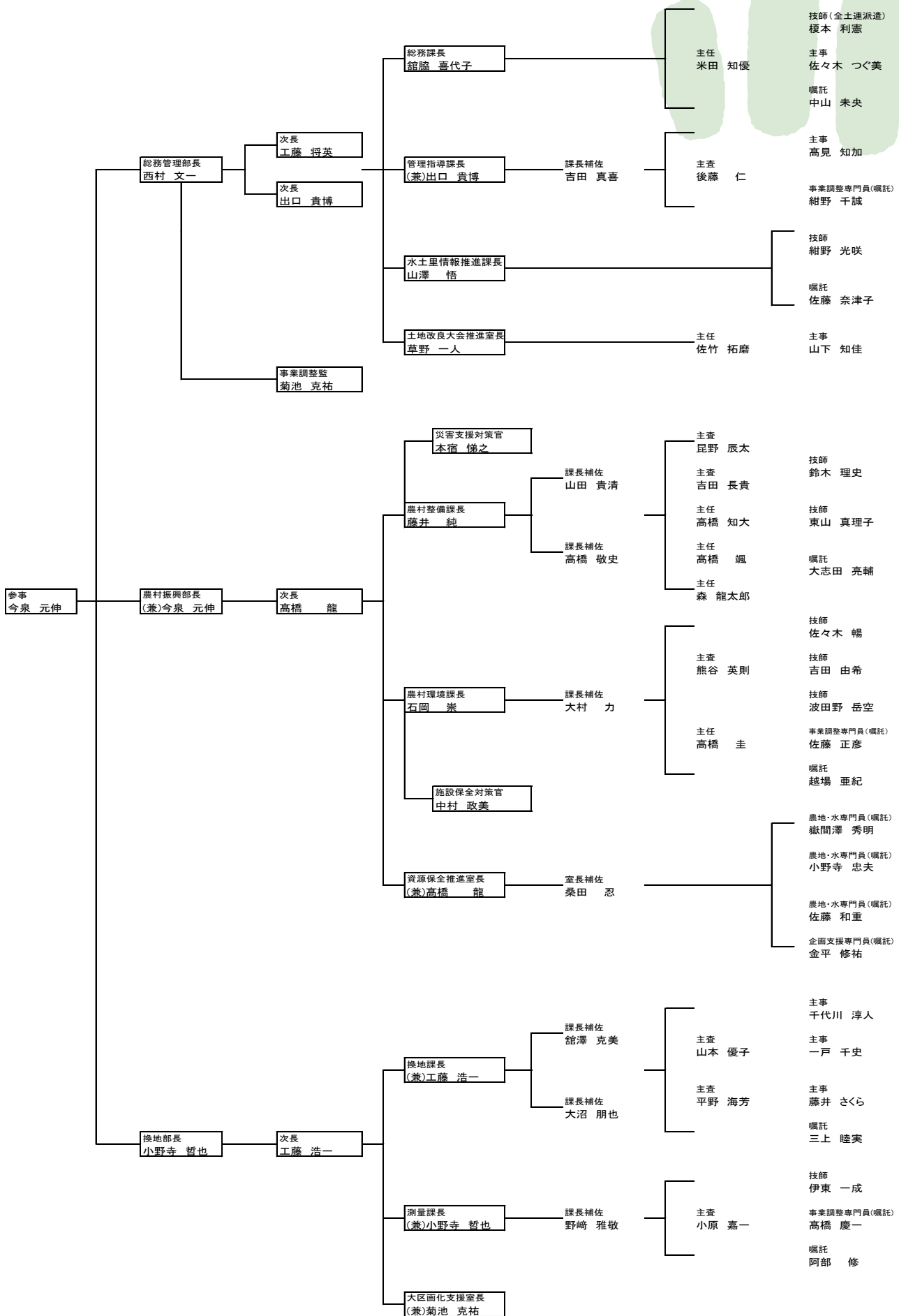
- 会計指導員

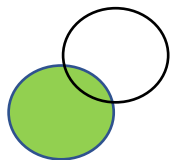


佐々木 つぐ美
(ささき つぐみ)

総務管理部
総務課主事

令和8年度 水土里ネットいわて職員組織図





土地改良区だより

第14回 水土里ネット陸前高田 (陸前高田土地改良区)

県内位置図



【白川周一理事長(左から2番目)と職員】

本土地改良区の受益農地は、気仙川左岸部から広田湾に面する山沿いの南側斜面にかけ、約15kmに渡って細長く展開している区域と、高田松原の北側に広がる区域から形成されています。

昭和45年に県営かんがい排水事業気仙川地区の採択により、既存の久連坪、堂の沢、米崎土地改良区を新設合併し気仙川土地改良区を設立しました。当時の気仙川からの用水は、頭首工や揚水機等の老朽化が著しく、用水不足による干ばつの被害が度々発生していましたが、事業の実施により取水施設と幹線用水路を新設して水量を確保することが可能となるなど、効率的な農業の実現と農業経営の安定化が図られました。

また、農業者の高齢化、後継者不足による農作業の受委託が増加したことから、農業関係機関と連携し、担い手の育成や生産組合の組織化を推進すると共に、平成3年から維持管理経費の削減を図るべく用水を集中管理するための水管理システムを導入し、事務所から取水ポンプの運転操作を可能とするなどの省力化に取り組みました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、受益地は大きな被害を覆いましたが、各方面から絶大なるご支援をいただき、耕作地の復旧・再開が始まると、厳しさを増す土地改良区運営の将来を見据え、次第に合併への機運が高まり、令和元年に金成土地改良区と気仙川土地改良区が合併して名称を陸前高田土地改良区に変更、令和7年度には気仙川土地改良区と合併しました。

今後とも組合員や地域住民と一体となり、震災からの復興と農業発展の一役を担う土地改良区を目指し、役職員一丸となって取り組んでいきます。



【農用地災害復旧関連区画整理事業
陸前高田(小友)地区の圃場風景】



【経営体育成基盤整備事業金成地区
の圃場風景】

水土里ネット陸前高田(陸前高田土地改良区)

【理事長】白川 周一

【所在地】〒029-2202 岩手県陸前高田市横田町字狩集 2-3

【連絡先】TEL : 0192-59-2191 FAX : 0192-59-2191

【受益面積】305ha 【組合員】432名 【理事】9名 【監事】3名 【職員】3名

編集後記

田植え作業が最盛期を迎え、水田には春の日差しを受けてきらめく水面が広がる季節となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、本誌「岩手県の土地改良」は、今月号をもちまして第600号という大きな節目を迎えることができました。これまで発行を継続できたのは、永きにわたりご愛読いただいている皆様をはじめ、関係の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

これからも、土地改良事業や農業・農村整備に関する情報を分かりやすくお伝えし、皆様により一層親しまれる機関紙となるよう努めてまいります。今後とも「岩手県の土地改良」をどうぞよろしく願いたします。

(編集幹事)



発行所 **岩手県土地改良事業団体連合会**

〒020-0866 盛岡市本宮二丁目10番1号

TEL 019-631-3200

FAX 019-631-3260

<https://www.iwatochi.com>

編集発行人 千葉 匡